

# あがの市議会だより

第40号

平成31年  
**3月**定例会号  
3月29日発行

## 主な内容

議案ピックアップ	P1-2
議決結果	P2
常任委員会・特別委員会の活動報告	P3-4
市政を問う一般質問(11人)	P5-7
議会報告会での意見ほか	P8



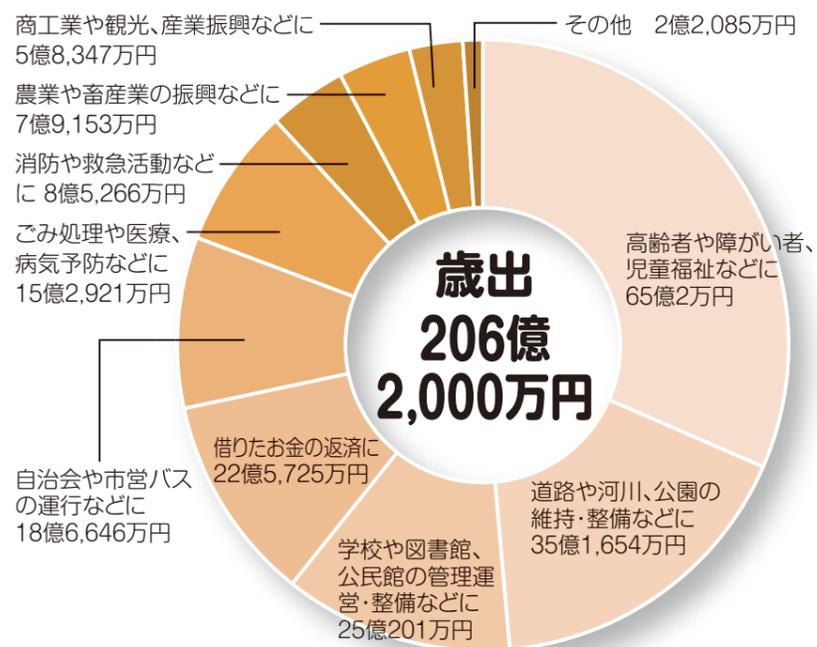
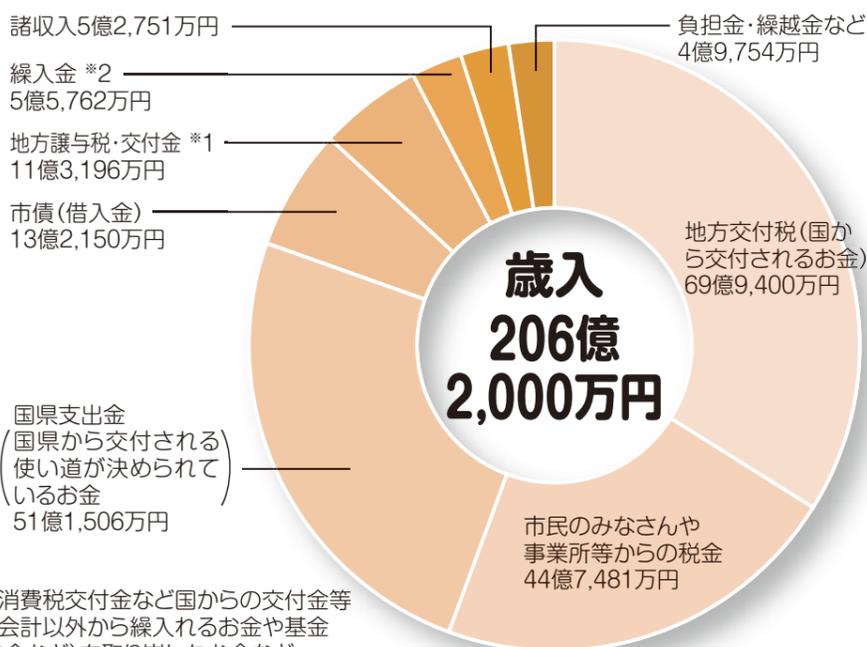
## 3月定例会が3月1日～20日の会期で開かれました

- 1日 本会議**
  - 施政方針・一般行政報告 議案の提案説明
- 4日 本会議**
  - 一般質問1日目(6人が質問)
- 6日 本会議**
  - 一般質問2日目(5人が質問)
- 11～13日 各常任委員会**
  - 委員会に付託された議案等を審査
- 14・15・18日 予算審査特別委員会**
  - 平成31年度各会計予算を審査
- 20日 本会議**
  - 予算審査特別委員会、各常任委員会の審査報告のあと討論を経て採決 ※議決結果は2ページ

## 議案ピックアップ

議案を議決するまでさまざまな視点から審議を重ねています。審議した中から平成31年度当初予算の内容をお知らせします。

## 平成31年度 一般会計予算は206億2,000万円 人口減少対策と少子化対策が最優先



\*1 地方消費税交付金など国からの交付金等  
\*2 一般会計以外から繰入れるお金や基金(積立金など)を取り崩したお金など

## 5つの政策の柱における主な事業

### 1 安全・安心な暮らしの実現

- ・ **塾のコンビニ(フィットネス健康塾)事業** 拡大  
市立図書館のギャラリー内に誰でもいつでも気軽に利用できる「けんこう交流スペース」を開設します
- ・ **防犯対策事業** 拡大  
防犯カメラを設置して行方不明事案の早期発見・保護につなげます

政策の柱3・4・5、市の10会計の予算額は2ページに掲載

### 2 子どもの育成支援の充実

- ・ **紙おむつプレゼント事業** 拡大 第1子から対象になります
- ・ **あがの子育て支援センターにここ運営事業** 拡大  
助産師などの専門職による無料相談を開催します
- ・ **コンピュータ教育環境設備整備事業** 拡大  
平成30年度は全中学校でタブレット端末・電子黒板などを配備し、31年度は全小学校のタブレット端末などの配備を完了します

# 平成31年度予算を審査

平成31年度一般会計ほか9会計の予算は、議長を除く全議員で構成される予算審査特別委員会に付託され、3日間にわたり慎重審査を行い、本会議最終日に採決の結果、いずれも可決されました。

## 【平成31年度各会計の予算状況】

会計名	歳入歳出予算総額	前年度対比(伸率%)
一般会計	206億2000万円	1.7
国民健康保険特別会計	40億8322万6千円	0.3
後期高齢者医療特別会計	8億1918万8千円	1.6
介護保険特別会計	49億8917万4千円	1.8
押切外四ヶ大字財産区特別会計	501万7千円	0.0
少年自然の家特別会計	3273万4千円	3.6
工業団地造成事業特別会計	1億9338万9千円	9,193.1

### 水道事業会計

収益的収入	12億9619万1千円	収益的支出	12億2763万5千円
資本的収入	3億1060万1千円	資本的支出	9億1862万3千円

### 下水道事業会計

収益的収入	19億2166万2千円	収益的支出	19億7572万5千円
資本的収入	16億4790万1千円	資本的支出	21億7170万1千円

### 病院事業会計

収益的収入	4億7290万6千円	収益的支出	9億2357万1千円
資本的収入	2706万1千円	資本的支出	2706万1千円

## 5つの政策の柱における 主な事業

## 議案ピックアップ

### 3 高齢者や障がい者福祉の充実

- ・人工透析通院費助成事業 **新規**  
人工透析のための通院費に対して助成します
- ・交通安全対策事業(高齢者運転免許証自主返納者支援事業) **拡大**  
自主返納した方の市営バス利用料が無期限で無料になります(75歳以上の方の市営バス利用料も無料になります)

### 4 地域経済の活性化 ～農業・商工業・観光の振興～

- ・園芸ハウスリニューアル事業 **新規**  
園芸を行うためにハウスのリニューアルを行う農家に事業費の1/2を補助します(上限50万円)
- ・UIターン起業支援事業 **新規**  
UIターンによる起業・就業者に対して助成します
- ・空き校舎活用による地域活性化事業 **新規**  
廃校を活用した黒板アートの制作を首都圏の学生に依頼して、都市部の若者との交流を促進し身近に芸術に触れる機会を設けます

### 5 生活に密着した住環境整備の促進

- ・道の駅整備事業 **継続**  
実施設計、用地購入、造成工事を行います
- ・虹の架け橋住宅取得支援事業 **拡大**  
市外からの転入の促進、住宅需要の高まりから予算規模を拡大します
- ・奨学生UIターン奨励事業 **継続**  
阿賀野市奨学金を受け、県外の大学を卒業し阿賀野市に住む方に対して、奨学金返済金のうち5年間分、1/2(上限20万円)を助成し、学生の負担を軽減するとともに定住を促進します

# 3月定例会の議決結果をお知らせします

## 全会一致で議決した議案等

議案名	審査した委員会※	議決結果
阿賀野市教育委員会教育長の任命について(神田武司氏)	省略	同意
阿賀野市教育委員会委員の任命について(瀧澤圭子氏)	省略	同意
阿賀野市固定資産評価審査委員会委員の選任について(菊地修市氏、須田幸英氏、長谷川香一氏)	省略	同意
一般会計補正予算(第7号) 後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号) 公共下水道事業特別会計補正予算(第4号) 少年自然の家特別会計補正予算(第2号) 一般会計補正予算(第8号)	国民健康保険特別会計補正予算(第4号) 介護保険特別会計補正予算(第4号) 集落排水事業特別会計補正予算(第3号) 病院事業会計補正予算(第3号)	可決
阿賀野市議会議員及び阿賀野市長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部改正について	社厚	可決
阿賀野市特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について	総文	可決
阿賀野市一般職の職員の給与に関する条例の一部改正について	省略	可決
阿賀野市災害弔慰金の支給等に関する条例の一部改正について	社厚	可決
阿賀野市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	社厚	可決
阿賀野市児童館設置条例の制定について	社厚	可決

議案名	審査した委員会※	議決結果
阿賀野市農業委員会の委員等の定数に関する条例の一部改正について	産建	可決
阿賀野市公園条例の一部改正について	産建	可決
阿賀野市上下水道局布設工事監督者の配置基準及び資格基準並びに水道技術管理者の資格基準に関する条例の一部改正について	産建	可決
阿賀野市病院事業の設置等に関する条例の一部改正について	社厚	可決
阿賀野市病院事業経営改革審議会条例の一部改正について	社厚	可決
新潟県市町村総合事務組合規約の変更について	総文	可決
市道路線の認定について	産建	可決
公の施設に係る指定管理者の指定について ・コミュニティーセンター城のうち ・デイサービスセンターおおむろの丘	社厚	可決
公の施設に係る指定管理者の指定について ・阿賀野市五頭山麓いこいの森 ・宝珠温泉保養センターあかまつ荘及び安田農村環境改善センター	産建	可決
工事請負契約の変更について[市立学校エアコン整備(その1)工事] 工事請負契約の変更について[市立学校エアコン整備(その2)工事]	省略	可決
公の施設に係る指定管理者の指定について ・阿賀野市宿泊施設リズム・ハウス瓢湖	省略	可決
天皇陛下御即位三十年を祝す賀詞に関する決議	総文	可決

※総文：総務文教常任委員会 社厚：社会厚生常任委員会 産建：産業建設常任委員会 予算：予算審査特別委員会 省略：本会議で即決したもの ◆各委員会での審査結果は市ホームページでご覧いただけます。

## 意見が分かれた議案等

○：賛成 ×：反対 議長(風間輝榮)は採決には加わりません。

議案名	審査した委員会※	議決結果	公明党				日本共産党		新政クラブ		阿賀野クラブ				ネオあがの		会派の所属なし			
			村上清彦	倉島良司	宮脇雅夫	稲毛明	江口卓王	近山修	山崎正春	浅間信一	山口功位	高橋幸信	中島正昭	市川英敏	天野美三男	遠藤智子	石川恒夫	山賀清一	清野栄一	横井基至
一般会計予算	予算	可決	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
国民健康保険特別会計予算	予算	可決	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
後期高齢者医療特別会計予算	予算	可決	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
阿賀野市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正について	総文	可決	○	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○
反対意見	県内他市との単純比較では19位と低いと思うが、住民1人当たりでは上から9番目。あくまでも私見だが、年間議会に招集されるのは30日程度。うち半分は2時間以内という観点からいくと非常に時給は高すぎるのかなと思う。引き上げの答申があったが遠慮すべき。																			
賛成意見	報酬審議会の答申を受けての2%の引き上げ。議会として第三者機関である審議会の答申は尊重すべき。極めて妥当なことだと思う。																			
生活保護基準引き下げ中止を求める意見書の提出を求める請願	社厚	不採択	×	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×
基礎年金額等の改善と年金の毎月支給を求める意見書採択陳情	社厚	不採択	×	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×
賛成意見	マクロ経済スライドが発動されていて、これでいくと何があっても引き下げるという状況。年金を株に使い年金はどんどん下げるといふしくみを作る。年金の在り方を抜本的に見なおし基礎年金を引き上げれば相当景気もよくなる。ぜひこれは実現してもらいたい。																			
反対意見	マクロ経済スライドを導入せず、老齢基礎年金の支給額が上昇し続ければ、現役世代の保険料も上がり続けることとなり、世代間格差の拡大が懸念される。また、毎月支給にはシステムの整備や改修、人件費等多額の費用が見込まれ、関係機関への影響も大きくなる。																			
「会計年度任用職員制度施行に伴う臨時・非常勤職員の地位・待遇改善を求める意見書」提出を要請する陳情	総文	不採択	×	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×
賛成意見	臨時・非常勤職員の賃金、労働条件の改善に必要な地方自治体の財源確保と会計年度任用職員制度への移行への臨時・非常勤職員の地位・待遇を改善することを求める意見書を国会および政府に提出をお願いします。																			
「最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を求める意見書」の採択を求める陳情	産建	不採択	×	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×
賛成意見	1日8時間、月20日勤務で計算すると、ボーナスを含めても年間150万円程度の手取り。労働者の約4割は非正規雇用で結婚もできなく少子高齢化につながっていると懸念される。地域経済の発展のためにも関係してくるので最低賃金の改善は必要だと思う。																			
反対意見	企業の事情も考慮する必要があり、また引き上げ部分を国でとれば大きな負担となる。国ではすでに最低賃金引き上げに向けた企業への支援を実施しているため反対である。ただできる範囲で中小企業への支援は行っていくべきだと思う。																			
長時間労働もハラスメントもない人間らしい働き方の実現を求める陳情	産建	不採択	×	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×
賛成意見	働き方改革推進一括法案が出されて高度プロフェッショナル制度創設等、労働者の健康破壊その結果地域経済は疲弊の一途をたどっていく。すべての労働者が健康で人間らしく働ける社会を実現していくことが今急がれていることだと思う。																			
反対意見	さまざまな企業、働き方がある中で一概にはあてはめられないのではないか。政府ではパワハラ防止義務を盛り込んだ労働施策総合推進法の改正案を閣議決定し、職場環境の整備に向けて今国会で成立を目指すことされている。国の動向を注視すべきだと思う。																			

# 常任委員会の活動

## 総務文教 常任委員会

総務部所管の市政全般の企画や調整、財務、市税、防災、教育等に関する調査や議案・請願等を審査します。

多様化する子育てのニーズに対応

### 認定こども園京ヶ瀬幼稚園、安田幼稚園の運営状況を調査(1月17日)

#### 【認定こども園京ヶ瀬幼稚園】

共働き世帯や核家族の増加により年々保育の需要が高まり、さらに宅地造成で子どもが増えたため、京ヶ瀬幼稚園の施設改修を行い、平成30年9月1日から認定子ども園として未満児保育を開始しました。現在3歳児以上42名に加え未満児8名が入園し、合わせて50名が在籍しています。

1号認定(3歳以上)の教育標準時間は朝8時半から午後2時半まで。必要に応じて朝8時から午後6時まで預かり保育が可能。

2号認定(3歳以上)、3号認定(0〜2歳児)の保育認定標準時間は朝7時から夕方6時

#### 【安田幼稚園】

平成30年度3歳児入園者がゼロだったという話を聞き、現状を伺いました。現在は4歳児10名、5歳児14名の計24名が在籍。次年度入園児募集に向けて保護者や地域の方、職員が協力して様々な取り組みをされ、平成31年度の3歳児の入園見込みは調査日現在で7名とのこと。

これまでの取り組みとしては、満3歳児保育の開始、預かり保育の時間延長、園児募集のパンフレットやポスターの作成、ホームページの立ち上げなど。休日を利用し保護者の方も自主的に活動されたとの話でした。

まで。保育認定短時間は朝8時半から午後4時半まで。必要に応じて午後7時まで延長保育が可能。

委員から延長保育、預かり保育の利用の質問があり、現在、未満児で早い子は朝7時半から登園し、遅い子は夕方6時迎え。常時6人ほどが預かり保育を利用しており、職員が3交替制で対応しているとのことでした。保育士は正職員9名(うち2名休職中)、臨時職員5名、調理員3名ほか栄養士と運転員。安全に保育を行うにはぎりぎりの状況だが、今後の園児数によっては保育士増員の必要が見込まれるとのこと。全国的

委員からは、来年度の入園希望者があったのはそれらの活動の成果だろうという感想が聞かれました。

教育標準時間は朝8時半から午後2時半まで。必要に応じて朝8時から午後6時まで預かり保育が可能。園長、副園長、クラス担任2名、預かり保育担当1名、臨時職員1名の6名体制。預かり保育では学校行事や家庭の事情などで保育ができない時に希望により対応。来年度の課題としては、預かり保育の一層の拡充や在園児以外の一時預かりの実施などさまざま考え



安田幼稚園で運営状況の説明を受ける委員



認定こども園京ヶ瀬幼稚園内視察の様子

に保育士が不足している中、有資格者を確保し、園児の受入れ体制を整えていくことが今後の課題とのことでした。

## 社会厚生 常任委員会

民生部所管の福祉、介護、子ども、保健、医療、環境、生涯学習等に関する調査や議案・請願等を審査します。

ライフステージにそった途切れのない支援

### (1) こどものことばとこころの相談室の運営状況を調査(1月25日)

こどものことばとこころの相談室は、相談支援センター「ことはな」と連携しての支援が提供されていて、それぞれのニーズや課題に応じた対応、支援が図られています。

#### ○事業内容と利用状況

こどものことばとこころの相談室では、児童発達支援(0歳〜就学前)、放課後等デイサービス(小学1年〜高校3年)、保育所等訪問支援(保育園、幼稚園、こども園、小中学校、児童クラブ等に職員が出向き、子どもの支援、訪問先施設スタッフに対する支援)でライフステージにそった途切れのない支援が行われています。

児童発達支援の利用者は81名で、支援体制は個別支援、個別のフリープレー、小集団支援などです。その子に合わせた支援方法を見つけないで行い終了後は、保護者とその日の子どもの様子を振り返りすることで同じ方向で支援を進めているとのこと。

放課後等デイサービスの利用者は80名で、養育型は個別フリープレー支援、小集団支援を行

### (2) 障害福祉サービス事業所の現状を調査(1月25日)

市内の障害福祉サービス事業所の事業内容・定員等、特別支援学校卒業後の進路状況と福祉サービス等の利用についての説

い、生活型は月曜〜金曜日、特別支援学級在籍生徒を対象に放課後の預かりという形で利用、土曜日は特別支援学級在籍生徒に加えて特別支援学校の生徒も利用。夏休み等の長期休暇時の預かりの要望もあり、他事業所と調整しながら行っているとのこと。

相談支援センターとはなでは、児童相談支援(0〜18歳)、平成29年度からは特定相談支援(18〜65歳)の事業が行われています。

委員からは、連携などの質問があり、未満児で園に入園していない子どもの場合、園に電話をして支援の場を見に来てもらい引き継ぎ、その後も連絡を取り合っている。小学校では校長会で相談室のことを伝えてもらっていて、連絡すれば来てくれる先生も増えた。移行して顔を つなぐことで連絡が少しずつ取りやすくなっている。支援が途切れないように担当者会議で連携を図っているとのことでした。

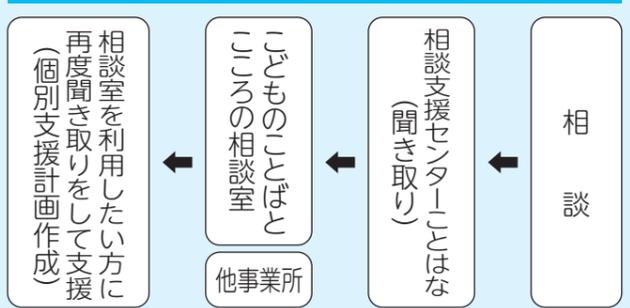
明を担当課から受けました。就労支援事業の中で月平均工賃の説明もありましたが、平成29年度の就労支援サービス利用者の

月平均工賃は最高で2万9138円となっており、工賃アップの必要性も感じられました。



こどものことばとこころの相談室で説明を受ける委員

#### 支援提供の流れ



閉会中の継続調査事項(6月定例会まで)  
放課後児童クラブの運営状況について

## 産業建設 常任委員会

産業建設部所管の道路、河川、商工業、農業、観光、公園、上下水道等に関する調査や議案・請願等を審査します。

### 住民生活の安心を守るため、市の取り組みを調査（1月31日）

(1)降雪時の降雪状況について  
降雪パイプの維持等における降雪施設の修繕実績は、今年度1月28日現在、計92件の修繕を実施し、内訳はノズル、送水・散水管からの漏水対応および消雪パイプに関する修繕が58件、井戸ポンプの修繕が12件、制御盤等の修繕が22件となっています。降雪施設は、30年以上経過した施設が全体の6%に達しており、県の情報によれば、県管理施設の平均の経過年数が37年程度であるので、県との比較で経過年数はまだ低い状況ですが、今後も局所的な修繕を行いながら、既存施設の経過年数および劣化状況を考慮し、更新を行うよう要望しました。

成29年度の出没情報提供件数は11件でしたが、平成31年1月31日現在での出没情報提供は23件寄せられています。また、農協およびNOSAに確認した農作物への被害額は、平成28年度は28万円、平成29年度は29万円となっています。

(3)水道管凍結時の対応について  
平成29年度の凍結等被害は、平成30年1月15日から2月20日までの間で、全体で修理の依頼合計が1063件。内訳は1月分が755件、2月分が308件で、部材不足等のため、すぐ修理が出来なかった件数が91件ありましたが、3月中には全て完了しました。

市の対策は、鳥獣被害対策実施隊、猟友会と連携しながら、わなの設置による捕獲を進めています。鳥獣被害対策隊は、全国的自治体では、イノシシ出没数の非常に速いペースでの増加に苦慮している状況です。

委員からは、寒波による凍結事故に備え、業者に対して、修理部材の在庫管理の適正化と体制の強化を指導してほしいという意見もありました。

近い将来、イノシシによる事故が多発することも予測されることから、早めに市長会等を通じて国に対策を講じてもらい、事故の未然防止が必要と思われます。市長からも国への働きかけを行っていただくよう要望しました。

水道設備工事に際しては、申込書による図面等の事前審査や完了時には現地での立会検査を行うなど、工事の適正保持に努めています。新築時、水道設備の凍結防止対策を完璧に近い状態にするように、なお一層指導に努めてもらいたいと要望しました。

除雪等の要望苦情等の状況は、今年度1月28日現在、66件の要望苦情があり、内訳は消雪パイプ等に関するものが44件、除雪に関するものが22件でした。今後も住民の生活に支障にならないよう、パトロール、除雪体制の構築等を進めていかなければなりません。

### (2)イノシシ被害の状況と対策について

平成29年4月から現在まで農林課で把握している出没状況は、国道290号や安田地区の山手方面の全域で確認されているほか、笹神地区の笹岡、山崎、次郎丸でも確認されています。平

## 議会改革推進特別委員会の活動

### 2月7日に先進地研修（愛知県犬山市）を行いました。

犬山市議会では、平成22年5月、時代的背景もあり、議会基本条例の制定と議会改革に向けた議員間での議論を深めることを目的に、議会改革推進委員会を任意の組織として設置しました。当時の議員定数22名のうち17名（当初15名）が参加し、議会改革に向けてのスタートを切っています。

また、議員間討議促進の取り組みでは、定例会会期中に全員協議会を開催し、一般質問や上程議案の内容等を協議する議員間討議を会期日程に組み入れるとともに、各常任委員会でも討議の場を設けていました。

その後、①議会基本条例を制定（平成23年10月1日施行）②議会人事・組織の改革③情報公開の促進④情報発信の促進⑤議員間討議の促進⑥市民との意見交換・市民参加の場の設定などに取り組みました。

結果として、市議会からの政策立案、政策提言が活発となり、市民に「参加すれば、実現できる」との気持ちが生え、「市民参加」が活発となり、市民の意識も高く、選挙での投票率の低下、議員のなり手不足などの問題解決の糸口にもつながることとなりました。

さらに平成29年7月～平成30年6月に議会改革委員会を設置し、主な取り組みとして①議会基本条例の検証②申し合わせ事項の見直し③政務活動費などの検証を掲げ、議会改革は新たなステージへと進展しています。

議会が本来持つ機能・権限を最大限発揮するには、議会を組織構成するのは議員であり、その議員一人ひとりが自覚と責任を果たすことが議会改革への大前提です。

その基本姿勢として、日本の議会は受け身すぎて十分機能していない。議会はもっと積極的になるべきとして、①市民フリースピーチ②いちにち女性議会③オープンドアポリシー④市民との意見交換会⑤親子議場見学会など、市民参加の機会と形を増やして市民からの意見を聴取し、出された意見や課題について全員協議会で議員間討議に付し、意見集約により

犬山市議会での議会運営の見直しをはじめ、各種取り組み実践は、市民の方々からより信頼される議会を目指しての当市議会改革推進へ多くの示唆をいただく研修でした。

### 1月17日 農業関係者との懇談会が開催されました



初の試みとして、JA北蒲みなみ、JAささかみ、阿賀野川土地改良区、市農林課、市農業委員会、市議会産業建設常任委員会が一堂に会し、農業の活性化、所得向上、産地化などについて意見交換を行いました。



犬山市議会の取り組みについて意見交換

閉会中の継続調査申出事項（6月定例会まで）  
(1)有害鳥獣対策について  
(2)ため池の状況について



無会派  
清野 栄一

## 通学路の安全対策について

**質問** 昨年5月の新潟市の小学生殺害事件を受け、国は県を通じ通学路の緊急点検実施を指示した点を伺う。①緊急点検の結果と対応②交通事故も含めた過去5年間の通学路上の事件事故③通学路の防犯カメラ設置予定

**答弁** ①全小学校で警察等と点検を実施。危険箇所は35か所で見守り活動や草刈り、防犯灯の設置に取り組んでいる②不審者事案19件、交通事故6件、重大な被害はない③予定はない。

**質問** 他市では点検結果と問題点を箇所ごとに図示、HPで公表。不審者情報としての行政無

線活用など、市民に分かりやすく周知している。

**答弁** 危険箇所の図示によるHPでの公表は参考にしたい。行政無線は検討する。



## 指定管理施設(あかまつ荘、リズム・ハウス瓢湖)

**質問** 利用状況等を踏まえた現状認識と今後の方向性は。

**答弁** あかまつ荘利用者は年間約8万人と減少傾向で、事業評価では民間譲渡との判定であり、時期を見て譲渡への取り組みを進める。リズム・ハウス瓢湖は

年間約3万3千人が利用。来訪者などの施設として今後も管理運営していく。

**質問** あかまつ荘の手すりや段差解消の要望対応は。

**答弁** 聞いていない。

**意見** あかまつ荘利用者は、憩いの場としてここに来ることが生活の一部となっている高齢者も多く、譲渡については慎重な対応を望む。

**質問** リズム・ハウス瓢湖は、指定管理事業者を公募しているが、なぜこのような事態になるのか。運営状況などを適切に意見交換すべき。単年度の随意契約での継続や事業者の公平公正な選定をすべき選定委員が職員であるなど問題が多い。

**答弁** 他市の事例等を参考に適切な取り扱いを検討する。

## その他の質問



無会派  
遠藤 智子

## 妊産婦医療費助成

**質問** 平成30年度妊産婦医療費助成事業として、所得税非課税世帯を対象に30万円が予算計上されたが、助成者数、助成額を伺う。

**答弁** 医療保険の適用があっても経済負担が大きい市民税非課税世帯を対象とした事業を開始したが、1月末で対象者1名、助成者1名だった。助成額は1万5910円で今後も対象者への制度周知に努める。

**意見** 当市の子どもの出生率は低下傾向で、出産年齢も高くなっている。年齢が高くなるほど医療リスクも高まる。妊産婦医療費全額助成事業を全妊産婦に

拡大してほしいとの市民の声がある。母子の安全な出産環境の支援に助成事業の検討を要望する。



## 児童虐待防止

**質問** 児童虐待やドメスティックバイオレンス(DV)が大きな社会問題となっている。児童虐待もDVも家庭内で起こり把握は容易ではなく、また、虐待に至る親は虐待かしつけかの自覚がないまま行われているとの指摘があるが、当市の現状と課題を伺う。

**答弁** 本市の児童虐待やDV(疑いも含む)は、今年度1月末で48件と増加傾向であり、心理的虐待が最多で、年齢は小学生が最多と母親からの虐待が一番多い。毎年、虐待の継続管理をしている児童数は約100人で世帯数は50〜60世帯。管理終了は、市外への転出や児童福祉法により18歳までの管理のため、年齢に到達すると他機関に過ぎ終了となる。課題として5年以上の継続管理世帯が約1割。今年度の虐待相談48件のうち12人は継続管理世帯で社会的背景等の中で改善が難しい状況である。

**意見** 虐待に至った親の心理的な部分が解決されなければ虐待はくり返される。家族の回復支援に専門家を加えた支援事業の検討を要望する。



公明党  
村上 清彦

## 観光施策について

**質問** 観光を成長戦略の大きな柱とし、国の基幹産業へと成長させ、「観光先進国」の実現を図るために取り組みが進められている。当市の総合戦略で掲げられている「地域資源を活かした観光の活性化」、「情報発信の強化」、「観光施設の整備と維持管理の充実」について、現状と次年度の取り組みを伺う。

**答弁** 体験型観光のニーズに対応した取り組みを五頭温泉郷、五頭自然学校が行っている。さらなる誘客を目指し、観光素材の掘り起こしとその活用に取り組みしていく。情報発信では、各種観光商談会や首都圏等で開催

される物産会でのPR。ホームページやSNS等でタイムリーな情報発信を積極的に実施していく。観光施設の整備と維持管理については、五頭登山道の標柱整備、どんぐりの森の施設整備、瓢湖駐車場トイレの改修を計画している。

**質問** 県では次年度、大規模イベントが開催されることから、これを契機に誘客を促進し、交流人口の増加を一過性に終わらせないよう、多様な地域資源を活かした交流人口の拡大に取り組み方針を打ち出している。当市ではどのように関わっていくのか伺う。

**答弁** 広域連携による観光振興に取り組んでいる中で、詳細が示され次第、協調して取り組みを行ってきたい。

**質問** 旅行者を受け入れる地域が、その地域でおすすめの観光資源を基にした旅行商品や体験

プログラムを企画・運営する「着地型観光」は訪日外国人の誘致、地域振興に効果があるとされているが、展開をどのように考えているのか伺う。

**答弁** 市観光協会や五頭温泉郷旅館協同組合等のメンバーを対象としたDMO先進地の視察等を行い、知識、理解を深めていくことから始めていきたい。



市川 英敏

## 工業団地の現状について

**質問** 工業を集団的に立地させることにより、土地の合理的利用、整然とした都市計画、産業公害防除などを目的に造成整備された工業団地が本市において各地区にある中、それぞれの運用状況、今後の見通し、維持管理の状況、新潟県東部産業団地内のあがの池の位置づけはどのように考えているのか伺う。

**答弁** 京ヶ瀬・赤坂・西部工業団地は分譲が終了しており、それぞれ10社、6社、2社が操業している。

維持管理は市が調整池、緑地の除草作業を行っており、今後

も適正管理に努める。

東部産業団地は15社が操業している。

維持管理は新潟県と用地管理業務委託契約を締結して、市が未分譲地や緩衝緑地帯の除草作業、植栽の剪定および伐採、ゴミ拾いを行っている。35haの分譲可能地が残っていることから、県企業局と情報共有を図り誘致活動を行っていく。

東部産業団地のあがの池は水と緑のシンボルゾーンに位置づけられている。夏にはハス、冬には白鳥が見られる池だが観光地としてはではなく、団地で働く方や市民の憩いの場としての位置づけとしており、調整池としての機能が保持できるように引き続き維持管理に努める。





無党派 石川 恒夫

### 地域包括ケアシステムの現状と課題

**質問** 計画策定に当たっては、一定の方程式が無く自治体に委ねられた応用問題も多く、評価に当たっても第三者評価のしくみがなく客観的評価が難しい中、進行管理や評価はどのように対応しているか伺う。

**答弁** 「第7期介護保険事業計画」に基づき進行管理し、地域包括センター運営協議会等で実績報告と取り組みへの方向を評価している。

**質問** 現状での課題と対応を伺う。

**答弁** 医療と介護のスムーズな情報共有と地域での人と人との



日本共産党 倉島 良司

### 駒林地内の交差点事故の減少を願う

**質問** 一灯式信号機の交差点での事故が少しでも減るような施策を何度が当局にお願いしているが、なかなか減少しない。

**答弁** 交差点にはカーブミラーが設置されているが左右の見通しが悪く、目視による安全確認がしにくい。今後、現地の状況を改めて検証し、警察署と連携して対策を講ずる。

**意見** 今度の事故は夜10時とのこと。見通しが悪いと言っても交差点に入る前に十分スピードを落とす措置の交差点にすれば、事故は激減すると思う。

つながりと支え合いの地域づくり推進と認識している。

**意見** 課題認識は私も同じ。特に地域コミュニティの希薄化とともに、地域包括ケアの理解度は、関係者ともかく一般的には極めて低い。地域包括ケアの基幹でもあり確かな周知、啓発対策を講ずるべきであり指摘しておく。

### あがの市民病院の決算見込みと救急告示再開

**質問** 先に提示された今期の収支決算見込みでは、約1億4000万円の赤字予測であるが、その分析、評価と対応を伺う。

**答弁** 直近での見込みでは収入増等により赤字額が約3400万円圧縮され、約7000万円の決算見込みである。現状では経営分析までに至っていない。

**質問** 救急告示返上から十数年

### おためし地域おこし協力隊の活用を

**質問** 総務省は、地域おこし協力隊の体験制度を始めるとのこと。都市部の若者が地方に移住して、地域活性化に取り組みたいことは、隊員も相当の決意が求められると同時に、自治体もそれなりの覚悟が必要だと思われる。当市はすでに経験済みの事業だが、市長はどのような考えか尋ねる。

**答弁** この制度は地域になじまず任期途中で辞める隊員を減らすことを意図している。今後国から示される要綱などを把握しながら検討していきたいと考えている。

### 農業再生への転換を

**質問** 国連は今後10年間を家族農業の10年間と決定し、家族農

経過し、市民の安全安心確保からも早期再開が急務。現状での

**答弁** 万全な救急体制を組むまでに至っていない。今後は救急応需件数の増加と医師招へいに向け、厚生連・病院当局と協議、要請を引き続き行っていきたい。



### 稼げる農業について

**質問** 新潟県は園芸作物の生産拡大に向けた「園芸振興基本戦略」策定に向けて、2月8日生産者による検討会議を開いた。

**答弁** 新潟県の農業が米に依存し、消費の減少等で産出額が伸び悩む中、県は「稼げる農業」への転換に乗り出した。農林水産業「にいがた園芸新時代プロジェクト事業」は3億8744万円予算となっている。

**阿賀野市農業再生協議会「水田フル活用ビジョン」について** 地域の作物作付けの現状、地域が抱える問題や作物ごとの取り組み方針等が出ています。また、作物ごとの作付け予定面積や課



ネオあがの 天野美三男



日本共産党 宮脇 雅夫

### 高すぎる国保税を協会けんぽ並みに引き下げよ

**質問** 世帯員の数に応じて課税される均等割、世帯に定額で課される平等割は、国保税だけで、ほかの健康保険にはない不公平な税制であり、これをなくすと協会けんぽ並みの保険税になる。

**答弁** 当市の国保税額と協会けんぽ保険料の比較では、給与年収400万円（30歳代の夫婦と子ども2人）の場合、国保税は協会けんぽの1.9倍の36万9170円（均等割・平等割を除くと20万7370円、協会けんぽ19万2600円）。年金収入280万円（夫230万円、妻50万円）の場合、国保税16万4530円

（均等割・平等割を除くと6万8530円）。全国知事会などが、国保税を協会けんぽの保険料並みに引き下げるために、1兆円の公費負担増を政府に要望。市長も全国市長会等が要望するように働きかけよ。

題解決に向けた取り組み目標も具体的になっている。今後の取り組みを伺う。

### 学校給食について

**質問** 2月10日に「ゆうぎの里振興大会」が開催された。講演で「いすみ市の自然と共存する里づくり」有機米づくりと学校給食全量有機米の取組」を聞いた。環境と経済の両立を目指す協働のまちづくりを実行している。当市も学校給食全量を阿賀野市産有機米に推進してはどうか。また、現在の学校給食の現状を伺う。①学校給食における米飯の割合②阿賀野市産米納

**答弁** 農業所得の向上には、米だけに頼らない園芸などを取り入れた複合農業を推進する必要があるため、阿賀野市農業再生協議会では野菜などの高収益作物の産地化を目指している。

入割合③阿賀野市産野菜等搬入状況。

**答弁** 有機米は生産者が少なく、ほとんどが生協などに出荷されていることから、すぐに米飯給食への提供は難しい。①米飯の割合は週平均3.7回②阿賀野市産米納入割合は100%③搬入状況は15.4%。安全・安心な食材を使用することで、おいしい給食を子どもたちに提供することが使命と考えている。



### インフルエンザ予防接種の助成拡充を

**質問** 当市では、小学生が2回目のワクチン接種時のみ1500円の助成となっているが、2回の助成と対象を中学3年生までに拡大すべきだ。接種率を上げ、重症化を防げば、子どもの医療費助成負担も減るのでないか。

**答弁** 予防接種助成の実施率は53.7%。予防接種は任意であり、保護者の重症化予防意識が接種率に影響する。今のところ助成拡充の考えはない。





日本共産党  
稲毛 明

## 福祉行政について

**質問** はぐろの里デイサービス事業は、いろいろな手立てを取ってきていると思う。この間の検証で何を待たのか。

**答弁** 12月中旬に休職中の職員と阿賀北総合福祉協会の役員と面談の場を設けた。休職者からは、休職に至るまでの経緯、健康面や生活面を含め現在のどのような状態であるか。法人側からは、休止になった経緯と現在の取り組みや休職者への対応を聞き取りした。

**質問** 市の提案を持って第三者委員会を立ち上げることはどうか。

**答弁** 社会福祉法人としての信



無会派  
山賀 清一

## 行政上の課題について

**質問** 道路管理上全地区を見た場合、危険区域があちこちに見当たり住民の方々の不満のあるところ。合併経年後にも関わらず、いまだ未整備、不十分な箇所が相当あるが、どういう理由何の問題点なのか。このような不常な状況下では都市計画にも大きく左右する影響大である。難しいから後回しに放っておくとは怠慢というほかない。問題があるから国調をやり、将来に對して土地台帳を正しく作成するべき時である。昔の台帳では難しくトラブルの可能性があるが、この点専門の方に依頼し早く解決をするべきだがどのよう

頼回復、再発防止に努め、市民が安心して暮らせる福祉サービスの提供を目指した事業所運営を要請している。現在さまざまな改善に取り組んでいる段階であることから、今のところ第三者委員会の立ち上げは考えていない。

**質問** このことを機会にして市内全部の施設を総検証してはどうか。

**答弁** 4年から5年に1回の実施指導と現状確認を行っている。県が指定、指導権限を有する市内介護事業所は県が4年から5年に1回行っており、市も原則同行している。新たな検証は考えていない。

## 農業振興のために

**質問** 農家の所得向上のための政策であるとしているが、どのくらいの所得が向上するのか。

な認識で受けとめているのか。以前の造成団地の中、今や一般道として通行しているが個人所有権のある箇所を補修改修の場所。今の時代に理解しがたい所があり早急に寄附採納の方法で正常にすべきだが、その考えはどの程度と認識しているか答弁を。

**答弁** 阿賀野市土地開発公社が取得した土地については、公社が解散するまでに市に売却するとともに所有権移転登記を完了したところ。固定資産税については担当課で処置をとっている。国土調査の境界紛争等のトラブルが判明時点で事由を調査し原因の究明に努めた上で調査を進めている。市の国土調査の進捗率は、平成30年3月末現在66・8%で、全国の52%、新潟県の34%を上回っているが、水原地区は、平成17年度着手と他の地区と比べて調査着手が遅れ

**質問** 米だけに頼らない農業による所得向上に取り組み、若い担い手の確保・育成につながるものと考えている。露地野菜、施設園芸等で1a当たり米の約2〜4倍になると推計している。

**質問** 昨年の災害を踏まえ、農業用ため池・井戸等の施策で早急な対応が求められているがどうか。

**答弁** 天水に頼る地域にとってため池・井戸は有効なものと考えている。圃場整備支援の取り組みとあわせて取り組んでいきたい。



たため進捗率は22%となっている。昨年度から市街地の調査に着手し本年度も市街地を中心に調査をしていく。土地行政の適正化を図っていく。



〈その他の質問〉  
安全地帯策について



無会派  
横井 基至

## 児童虐待防止の取り組みについて

**質問** 県内児童相談所の児童虐待相談対応件数は、近年増加の一途をたどっている。本市の児童虐待防止の取り組みについて伺う。阿賀野市内には児童相談所がないが、その影響などはあるのか。

**答弁** 本市は新発田児童相談所の管轄になる。平成17年度から児童虐待の相談窓口を設置し、現在は、子育て世代包括支援センター内のこども若者相談支援係が担当している。新発田児童相談所には、阿賀野市担当の職員が1名おり、日頃から連携が取れているため、特に影響はな

いものと考えている。

**質問** 市では相談窓口のワンストップ化を進めているが、どのような成果があるか伺う。

**答弁** 市庁舎のどの窓口で児童虐待相談をしても、こども若者相談支援係の担当者につながり、対応相談できる体制をつくっている。今後も引き続き、市役所内での連携や広報を通じて相談窓口の周知をしていく。

**質問** 市区町村子ども家庭総合支援拠点と子育て世代包括支援センターを併設しているところがあるが、市の今後の対応を伺う。

**答弁** 東京都目黒区の事件を受け、児童虐待防止対策総合強化プランが策定され、市区町村は2022年度までに、子どもとその家族、妊産婦等を対象として、地域の実情を把握し、相談対応や支援を行う「市区町村子ども家庭総合支援拠点」の設置

に努めることになった。市は現在、こども若者相談支援係において支援拠点と同様の機能を持つ業務にあたっているが、来年度に、子育て世代包括支援センター併設子ども家庭総合支援拠点を設置することにしており、妊娠期からの早期対応と母子健康との有機的な連携により、児童虐待防止に取り組んでいく。



4月から子育て世代包括支援センターに子ども家庭総合支援拠点が併設される

市ホームページで  
議会の情報を発信しています ぜひご覧ください

【阿賀野市トップページ】

<http://www.city.agano.niigata.jp/site/gikai/>  
市議会のページ



【市議会のページ】



市議会の映像配信

◀ 議会中継はこちらのボタンから生中継、録画映像で見ることができます。

お知らせ

6月定例会から議会中継が、スマホ・タブレットからも視聴できる予定です。

2月1日に市PTA連絡協議会の皆さん、2月6日に子育て支援センター  
つくし利用者の皆さんと意見交換をしました。

質疑、意見の一部を紹介し  
ます。なお、掲載内容は要  
約してありますのでご了承  
ください。  
詳しい内容は、市ホームペ  
ージ「市議会のページ」に  
掲載しています

公園に関するもの

・日影がない。夏は猛暑な  
ので春秋にしか遊べない。  
・天朝山公園の駐車場がわか  
りづらいので案内板が必要  
子どもだけで遊ばせるのは  
人目につきにくい場所なの  
で不安がある。  
・安心して遊べる砂場がほし  
い。  
・公衆トイレの美化。  
・公衆トイレについては順次  
直している。

学童施設を増やしてほしい。

子育て力の低下や社会基盤  
の弱さの克服、人口減少抑  
制、地域に貢献できる人材  
育成など、市の課題につい  
て行政の垣根を越えて、問  
題解決をしてもらいたい。

答

学校教育は総務文教常任委  
員会、社会教育は社会厚生  
常任委員会が所管となっ  
ている。今後議会内でも考  
えていきたい。

親

介助員を増やしてほしい。  
神山小学校においては、来  
年から特別支援学級が始ま  
るので介助員の確保をして  
もらいたい。なり手も少な  
いので給料をもっと手厚く  
してもらいたい。

親

分田小学校の生徒が減少し  
統廃合、複式学級化が現実  
味を帯びている中、今後の  
運営の在り方を考えるのも  
PTAが進める形になって  
いる。もう一度、市から保  
護者説明会を行ってほしい。

問

妊産婦の医療費助成はでき  
ないのか。

答

市には要望している。非課  
税世帯は対象になっている。

経済的支援について

・2人目、3人目となると経  
済的に不安。払しょくでき  
るような大きな経済支援を  
望む（聖籠町や燕市では出  
産祝い金がある）。  
・大学進学で学生が安く利用  
できる寄宿舎がほしい。  
・奨学金の充実や、戻ってく  
るためのメリットを考  
えてほしい。

問

保育料の無償化で、これま  
で2人目から半額、3人目  
は無料となっていたがどう  
なるのか。

答

制度がまだはつきりしてい  
ない。



子育て支援センターつくしでは9名が参加



小中学校、阿賀野高等学校の各PTA会長 13名が参加

いただいたご意見を参考に、  
政策立案等に役立てていき  
たいと考えています。これか  
ら多くの市民の皆さまから  
ご参加いただきますようお願い  
いたします。

### 次回6月定例会の予定

月 日	会 議 名
5月27日(月)	議会運営委員会（定例会の運営方針決定）
6月 6日(木)	本会議（議案上程、一般質問）
6月 7日(金)	本会議（一般質問）
6月10日(月)	本会議（一般質問）
6月14日(金)	総務文教常任委員会
6月17日(月)	社会厚生常任委員会
6月18日(火)	産業建設常任委員会
6月20日(木)	本会議（委員長報告、採決）

5月27日の議会運営委員会で正式に決定します。その後、市ホームページ  
でお知らせします。

### ようこそ阿賀野市へ 行政視察受入れ

1月30日に三重県名張市議会広報特別委員  
会、2月6日に香川県丸亀市議会会派(公明党)  
の皆さまが来庁され、研修を実施しました。



食と農業リノベーション拠点整備事業(食品乾燥技術によるビジネス創出)の研修

### 2月15日に タブレットの体験会を開催

ペーパーレス化や情報共有などに活用する  
ため、タブレット端末を導入しICT化に取り  
組む議会が増えており、まずはタブレットを  
体験してもらおうと、議員、各部課局長を対  
象に開催しました。資料にメモ書きするなど、  
実際に操作しながら、機能や活用方法の説  
明を受けました。今後については市側と議員  
間で協議していきたいと考えています。



### 編集後記

つい先日まで、瓢湖や田の表面を真っ白  
におおっていた白鳥もシベリアに帰り、瓢  
湖はカモが覆い尽くし普段の瓢湖に戻りま  
した。桜の開花ももうすぐです。

3月定例会では、「元気で明るく活力あ  
る魅力的なまち実現」のための各種事業が  
盛り込まれた新年度予算を審議し決定しま  
した。

今年の夏は去年の夏のように想像を越え  
る暑さになるのでしょうか。それとも稲刈  
りが終わったら豊作の米俵に囲まれた秋に  
なるのでしょうか。後者を祈るばかりです。

広報部会員 倉島良司

議会改革推進特別委員会 広報部会

部会長 山賀清一  
副部会長 横井基至

倉高遠 島橋藤 良幸智 司信子

次号は7月16日発行の予定です。

スマートフォン・タブレット用アプリ



あがの市  
議会だより  
配信中

■注意事項

- ・「マチイロ」は株式会社ホープが運営するアプリです。
- ・無料でダウンロードできますが、通信料が掛かります。
- ・アプリ内において広告が表示されますが、阿賀野市とは関係ありません。

発行：阿賀野市議会  
編集：議会改革推進特別委員会 広報部会  
〒959-2092  
阿賀野市岡山町10番15号  
TEL：61-2489  
FAX：61-2067  
E-mail：gikai@city.agano.niigata.jp